

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月12日

上場会社名 浅香工業株式会社

上場取引所 大

コード番号 5962 URL <http://www.asaka-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳧田 長秋

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部本部長 (氏名) 藤田 敏雄

TEL 072-229-5137

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	5,261	△13.7	△36	—	△23	—	△35	—
21年3月期第3四半期	6,096	—	38	—	72	—	△8	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△3.60	—
21年3月期第3四半期	△0.80	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	4,974	2,150	43.1	214.68
21年3月期	5,062	2,160	42.6	215.65

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,144百万円 21年3月期 2,155百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	△9.9	10	△39.5	30	△42.3	20	—	2.00

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	10,370,800株	21年3月期	10,370,800株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	380,339株	21年3月期	377,051株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	9,991,419株	21年3月期第3四半期	10,314,119株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の余波も若干弱まり、最悪の状態から脱した感もありますが、円高、株安、雇用不安、更にはデフレの進行と先行きに予断を許さぬ厳しい状況のままに推移してまいりました。

このような情勢下におきまして、当社は売上拡大を第一とした積極的な営業活動を展開してまいりましたが、当第3四半期累計期間の業績につきましては、企業収益の圧迫による設備投資の見送りや、個人消費の冷え込み、価格競争等が大きく影響し、売上高は5,261百万円（前年同期6,096百万円）になりました。

利益面につきましては、コストの低減・諸経費の節減等、全社をあげて損益改善に努力を重ねてまいりましたが、営業損失として36百万円（前年同期は38百万円の営業利益）、経常損失として23百万円（前年同期は72百万円の経常利益）を計上することとなり、保有株式の時価下落による投資有価証券評価損24百万円を特別損失として計上した結果、35百万円の四半期純損失（前年同期は8百万円の四半期純損失）となりました。

なお、品目別の業況は次のとおりであります。

（ショベル類）

国内向けにつきましては、降雪が幸いして除雪用スコップの売上に大きく寄与致しましたものの、土木工事等の需要の低迷にともなう販売激化と海外製品との価格競争が大きく影響し、売上高は574百万円（対前年同期比5.4%減）となりました。

輸出につきましては、円高等の影響もありましたが、価格対応等、拡販に努力いたしました結果、売上高は93百万円（対前年同期比30.3%増）となり、ショベル類全体といたしましては、売上高は667百万円（対前年同期比1.6%減）となりました。

（アウトドア用品類）

商品のアイテム数の増強を図り拡販に努力いたしましたが、個人消費の低迷と価格競争が影響し、売上高は1,490百万円（対前年同期比3.4%減）となりました。

（工事・農業用機器類）

降雪による除雪用品の動きは順調に推移いたしましたが、土木建築関連の需要の低迷に加え、専門店での受注不振もあって、売上高は1,717百万円（対前年同期比7.5%減）となりました。

（物流機器類）

業界内における設備投資の回復は見られず、縮小の一途で、引き合い件数の減少に拍車がかかるとともに、熾烈な価格競争等もあって、売上高は1,386百万円（対前年同期比31.3%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

（1）財政状態の分析

以下の記載内容は前事業年度末と比較しております。

（流動資産）

現金及び預金は98百万円減少し735百万円となりました。受取手形及び売掛金は77百万円増加し1,446百万円となったものの、未収入金は83百万円減少し257百万円となりました。その結果、流動資産の残高は107百万円減少し3,689百万円（前事業年度末は3,796百万円）となりました。

（固定資産）

有形固定資産は35百万円減少し377百万円となりました。これは設備維持更新等に21百万円を投資したものの、減価償却費等で56百万円減少したことによるものであります。投資有価証券は24百万円を評価損計上したものの、その他の所有株式の時価が回復したことにより、55百万円増加し466百万円となりました。その結果、固定資産の残高は18百万円増加し1,284百万円（前事業年度末は1,266百万円）となり、総資産合計では88百万円減少し4,974百万円（前事業年度末は5,062百万円）となりました。

（流動負債）

支払手形及び買掛金は45百万円増加し1,333百万円、短期借入金は50百万円増加し1,009百万円となりました。一方、未払法人税等は33百万円減少し5百万円、賞与引当金は26百万円減少し15百万円となりました。その結果、流動負債の残高は2,503百万円（前事業年度末は2,502百万円）となりました。

（固定負債）

長期借入金は88百万円減少し124百万円となりました。その結果、固定負債の残高は79百万円減少し319百万円（前事業年度末は398百万円）となりました。

(純資産)

利益剰余金は55百万円減少し863百万円となりました。また、その他有価証券評価差額金は47百万円増加し△17百万円となりました。その結果、純資産合計は10百万円減少し2,150百万円(前事業年度末は2,160百万円)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べて91百万円減少し、当第3四半期会計期間末には655百万円となりました。

なお、当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、5百万円(前年同期は48百万円の支出)となりました。これは主に減価償却費と売上債権の減少額の合計が120百万円となったものの、貸倒引当金の減少額と法人税等の支払額及び賞与引当金の減少額の合計が121百万円となったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、28百万円(前年同期は81百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出19百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、57百万円(前年同期は104百万円の収入)となりました。これは主に短期及び長期借入金の純減額37百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の状況を踏まえて、平成22年3月期の業績予想に関する事項につきまして修正をいたしました。

なお、詳細につきましては、平成22年2月12日公表の「業績予想及び配当予想の修正並びに投資有価証券評価損に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

(たな卸資産の評価方法)

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては実地たな卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、または一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

② 四半期財務諸表作成にあたり適用した特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	735,759	834,493
受取手形及び売掛金	1,446,625	1,369,038
商品及び製品	1,047,824	1,045,855
仕掛品	30,340	29,819
原材料及び貯蔵品	113,699	116,170
未収入金	257,758	341,487
その他	66,293	71,048
貸倒引当金	△9,030	△11,120
流動資産合計	3,689,271	3,796,793
固定資産		
有形固定資産	377,869	413,064
無形固定資産	31,921	38,282
投資その他の資産		
投資有価証券	466,106	410,675
その他	420,512	469,559
貸倒引当金	△11,478	△65,580
投資その他の資産合計	875,140	814,654
固定資産合計	1,284,931	1,266,001
資産合計	4,974,202	5,062,795
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,333,489	1,287,890
短期借入金	1,009,807	959,180
未払法人税等	5,560	39,229
賞与引当金	15,500	41,900
その他	139,524	174,746
流動負債合計	2,503,882	2,502,947
固定負債		
長期借入金	124,006	212,065
退職給付引当金	169,940	161,000
その他	25,861	25,861
固定負債合計	319,807	398,926
負債合計	2,823,689	2,901,873

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,600	829,600
資本剰余金	509,408	509,408
利益剰余金	863,808	919,721
自己株式	△33,801	△33,512
株主資本合計	2,169,014	2,225,217
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△17,915	△64,926
繰延ヘッジ損益	△6,306	△5,089
評価・換算差額等合計	△24,221	△70,016
新株予約権	5,720	5,720
純資産合計	2,150,513	2,160,922
負債純資産合計	4,974,202	5,062,795

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	6,096,692	5,261,193
売上原価	4,563,465	3,937,539
売上総利益	1,533,226	1,323,654
販売費及び一般管理費	1,495,120	1,360,230
営業利益又は営業損失(△)	38,106	△36,576
営業外収益		
受取配当金	9,089	5,025
受取保険金	38,883	16,422
その他	11,357	12,403
営業外収益合計	59,330	33,851
営業外費用		
支払利息	14,810	14,231
手形売却損	7,025	5,045
その他	3,160	1,434
営業外費用合計	24,996	20,711
経常利益又は経常損失(△)	72,439	△23,437
特別利益		
固定資産売却益	29,583	—
貸倒引当金戻入額	—	19,486
特別利益合計	29,583	19,486
特別損失		
投資有価証券評価損	35,675	24,770
貸倒引当金繰入額	53,968	—
特別損失合計	89,643	24,770
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	12,379	△28,721
法人税、住民税及び事業税	14,000	7,000
法人税等調整額	6,651	204
法人税等合計	20,651	7,204
四半期純損失(△)	△8,271	△35,926

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	12,379	△28,721
減価償却費	52,786	62,431
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,100	8,940
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35,800	△26,400
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	59,904	△56,192
受取利息及び受取配当金	△10,123	△8,875
支払利息	14,810	14,231
固定資産売却損益 (△は益)	△29,583	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	35,675	24,770
売上債権の増減額 (△は増加)	46,505	58,008
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△148,927	△19
仕入債務の増減額 (△は減少)	28,763	45,661
その他	△58,878	△55,953
小計	△38,587	37,882
利息及び配当金の受取額	10,359	8,940
利息の支払額	△14,332	△13,446
法人税等の支払額	△5,808	△38,434
営業活動によるキャッシュ・フロー	△48,369	△5,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,949	△31,432
定期預金の払戻による収入	39,365	38,928
投資有価証券の取得による支出	△88,410	△5,207
有形固定資産の取得による支出	△42,786	△19,333
有形固定資産の売却による収入	34,656	—
無形固定資産の取得による支出	△14,739	—
保険積立金の解約による収入	41,304	18,340
その他	△19,477	△29,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,037	△28,471
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	40,000	90,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△80,568	△127,432
自己株式の取得による支出	△24,307	△289
配当金の支払額	△31,062	△19,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	104,062	△57,709
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△25,344	△91,238
現金及び現金同等物の期首残高	812,266	746,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	786,921	655,317

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(売上高内訳)

(千円未満切捨)

期 別 品 種 別	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)			増 減		
	金 額	構 成 比		金 額	構 成 比		金 額	率	
	千円	%	%	千円	%	%	千円	%	
シ ョ ベ ル 類	国 内	606,781	89.4		574,071	86.0		△32,710	△5.4
	輸 出	71,728	10.6		93,483	14.0		21,754	30.3
	小 計	678,510	100.0	11.1	667,554	100.0	12.7	△10,955	△1.6
ア ウ ト ド ア 類	国 内	1,537,106	99.6		1,482,715	99.5		△54,391	△3.5
	輸 出	6,125	0.4		7,494	0.5		1,369	22.4
	小 計	1,543,231	100.0	25.3	1,490,209	100.0	28.3	△53,021	△3.4
工 用 機 器 ・ 農 業 類	国 内	1,842,191	99.2		1,706,726	99.4		△135,465	△7.4
	輸 出	14,336	0.8		10,423	0.6		△3,913	△27.3
	小 計	1,856,527	100.0	30.5	1,717,149	100.0	32.7	△139,378	△7.5
物 流 機 器 類	国 内	2,018,422	100.0		1,386,279	100.0		△632,142	△31.3
	輸 出	—	—		—	—		—	—
	小 計	2,018,422	100.0	33.1	1,386,279	100.0	26.3	△632,142	△31.3
合 計	国 内	6,004,502	98.5		5,149,792	97.9		△854,709	△14.2
	輸 出	92,189	1.5		111,400	2.1		19,210	20.8
	合 計	6,096,692	100.0	100.0	5,261,193	100.0	100.0	△835,498	△13.7